

幼児期に 育てよう

心とからだ



なりに友だちと仲良くしたり、仲直りや助け合つたりと知恵を働かせている姿があります。

この体験こそが自分の経験を広げ、友達とどう付き合つたらよいのかを学び、子どもをたくましく成長させていきます。子ども時代にこの訓練ができるいないと、大人社会にてからも周りの人たちとうまく人間関係が築けなく、苦労することになります。本来の子ども達の仲間遊びの世界を私達大人が大切にしてあげたいものです。

幼児期に子どもをたくさん遊ばせ、豊かな心と体を育てていきましょう。

山武市立日向幼稚園園長
浅野志津恵

3つ目は、子どものやる気を育てることです。

幼児期はいろいろなことに興味を示し、自分で何でもやろうとしたり、大人が予期せぬ行動をしハラハラ・イライラさせたりすることもたくさんあります。特に

子育てで悩んだ時、困った時、不安になつた時など子育てに関することならどんなんことでも気軽にご相談ください。

※市では、子育て相談を受け付けています。
子育てで悩んだ時、困った時、不安になつた時など子育てに関することならどんなんことでも気軽にご相談ください。

相談電話 ☎ (80) 1456
受付時間 月・水・木・金
曜日 (水曜の午後・祝祭
日を除く)

午前9時～午後4時半まで
一方的に子どもに押し付けることが多いからです。

人が意見を言う前に、よく観察し、子どもが今、何を考え何をしようとしているかを理解し、子どもの話をよく聞き止めてあげたうえで、大人の思いを伝えることが良いのではないで

けてしまうことが多いからです。

大 人が意見を言う前に、よく観察し、子どもが今、何を考えて何をしようとしているかを理解し、子どもの話をよく聞き止めてあげたうえで、大人の思いを伝えすることが良いのではないで

幼 児期は、人間形成の基礎を作る大切な時期です。今は、幼児期に育てたい3つの柱についてお話しします。

1つ目は、生活リズムをつくることです。大人の生活リズムに合わせてか、子ども達の生活リズムも年々夜型になり、就寝時間が遅く十分睡眠をとらないで登園してくる子ども達が多くなってきていました。成長盛りの子どもにとって何より大切なことは、「早寝早起き、三度の食事はきちんととり、太陽の光

仲 間遊びは、体をつくり運動機能を発達させ想像力や知力、コミュニケーション能力、社会性、人格の発達など人間の成長

を浴びてたっぷりと遊ぶ習慣をつけること」です。この生活リズムが子どもの心身の健康と成長を育み、情緒が安定することで子ども達の持つている力を十分發揮させる源にもなっています。

2つ目は、友達と遊ぶ経験をたくさんさせることで

できるようになり、大勢で一緒に遊ぶことで、他人とのかかわり方や思いやり、協調性などの社会性が発達してきます。多くの仲間と一緒に楽しく遊ぶには、友達の思いに気づいたりルールを守つたりしないとどうま

いいきません。自分の思ひばかりを通そうとすると喧嘩になり、時には大人が想像もつかない行動をしてしまうこともあります。

しかし、そこには子ども達の世界が広がり、子ども達

(教育委員会生涯学習課)